

司会：ただいまから、広陵町町定例記者会見を始めさせていただきます。

それでは、本日お配りをさせていただいておりますプレスリリース資料に沿いまして、町長から報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【今までに実施してきた事業】

町長：皆さん、こんにちは。年末いろいろとお忙しい中、記者会見をお願いいたしましたところ、ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

町長としての任期満了に伴う今後の考え方、また私がこれまでに進めてきております主要事業の成果と課題を中心にご報告を申し上げたく思いますのでよろしくお願いいたします。

時間は1時間ほどを予定しておりまして、この後広陵元気号のラッピングの表彰式を開催させていただくことになっております。

ご承知の通り、広陵町長としての任期は来年の6月30日でございます。

3期務めさせていただくことになりますので、任期満了でちょうど12年間町長をさせていただいたことになります。その前に約8年間、副町長をさせていただいております。職員としては高校卒業後から広陵町役場に務めさせていただき、半世紀を超える期間、広陵町役場でお世話になっております。

来年任期満了で、その直前に77歳という喜寿を迎えるということで体力的にも町長職というのはもう無理だと思い、去る11日の議会で笹井副議長の質問に答えさせていただき、退任させていただくことを明言させていただきました。

振り返ってみますと、私が町長に就任させていただいた頃、部長課長であった職員が、私が1期の町長任期を終えるときに30人ほど定年退職を迎えるという異常な事態になっておりました。

このことを踏まえ、やはり後継の職員の育成が一番大事と思っております。

また、町長就任前から考えております地域担当職員制度は、町役場はやはり住民と接する機会が非常に多いところですので、コミュニケーション能力をしつ

かりとれる職員へ育ってもらいたいという思いから、地域担当職員制度を発案して就任と同時にこの制度を立ち上げました。

行政の情報が住民の皆さんに十分伝わっていないことが一つの理由ではないかということで、徹底した情報発信を行い、住民の皆さんと対話することが大事と考え、地域担当職員制度を作らせていただきました。

当時は1地域1大字自治会ごとに1人配置し、地域の自治会、あるいは総会や様々な行事に出席するということで、職員皆さんには仕事をしながら負担をかけて申し訳ないとは思いますが、しっかり育てほしいという願いを込めてやらせていただきました。現在は複数名で担当してくれるようになりました。今後も継続していきたいと思っております。

それと、中学校給食に加えて、全小中学校ではエアコン整備も完了いたしました。

また、広陵元気号は料金をいただいて安定的に走らせる本格運行を国の認可をいただいて実施させていただいております。加えて、のるーと広陵元気号自家用有償旅客運送を予約型で並行して走らせていただいております。

また、広陵町はご覧の通り、広い農地が広がっておりますが、農業の後継者が非常に少ないことから、儲かる農業を実施することで農地の活用が促進すると考え、無料で塾を立ち上げ、専業農家を育成する取り組みをおこなっております。

保育情勢も大きな変化があり、保育需要が非常に高まってきた中で、広陵北地域の北保育園と北幼稚園を統合してこども園にするということで、最初の町立こども園を開園させていただきました。

続いて、西幼稚園と西第二幼稚園を合わせて、公私連携の畿央大学附属広陵こども園を開園をさせていただきました。

また、広陵町自治基本条例を制定し、町と住民等が協働して行政を進めていくことを基本に、それぞれの部署が同じ理念に立って政策を進めていく基になる条例を制定させていただきました。

また、奈良県下で最初の中小企業小規模企業振興基本条例を作ってはどうかという提案をいただきました。これに基づいて基本計画を策定したタイミングで新型コロナウイルスが蔓延し、中小企業も非常にダメージを受けた中、この条例があるおかげで、どういった支援が必要かということを振興会議で企業の皆さんと議論し政策を集約し、行政と企業の距離が近くなったと感じました。

それから、「広陵町産業総合振興機構 なりわい」も開設させていただきました。なりわいを立ち上げるに当たっては、SDGs 未来都市として国の認定をいただきました。

それから、防災対策としまして、自主防災組織を立ち上げ、防災士ネットワークを組織化し、災害に強いまち、災害に強い人を作ろうという意識の元で取り組んでまいります。また、役場庁舎も耐震化ができておりませんでしたので、耐震化をさせていただきました。

そして防災無線の整備、町内全地域の防犯灯のLED化を5年かけて全て入れ替えを行いました。

ゴミ処理施設については、広陵町が建設しましたクリーンセンター広陵は、違う場所で建て替えなければならないと考えておりましたところ、天理市から県を通じて、市町村共同でやらないかというお声をかけていただきましたのでタイミング良く、山辺県北西部環境衛生組合が立ち上がりました。また天理へ運搬する施設につきましても、安堵町と河合町の3町でまほろば環境衛生組合を立ち上げ、工事を進めさせていただいております。

平成緊急内水対策大和川流域は広陵町としての役割を果たさなければならないということで近畿地方整備局、また県の呼びかけに応じて町内で平成緊急内水対策調整池を現在３箇所で建設中で、一箇所はほぼ出来上がっております。

【実現できなかった事業】

町長：一方、実現できなかった、または新興途上の事業としては文化財をしっかりと見てもらうため、歴史資料館を作りたいということで公約をいたしました。しかし、議会の方でも公共施設をこれ以上増やすのはいかなものかという声もありまして、審議会を作ってできるだけコンパクトにする構想をまとめたものの、施設の建設には至っていないということで、公約通りには進められていないということでございます。

それから中央公民館の再整備事業でございます。中央公民館も非常に古くなっておりますので、建て替えてほしいという１万人署名を集められましたが、これからの人口減少を見据えますと、公共施設を増やすわけにはいかないということで、私は大規模改修でしのぎたいと言っておりましたところ、やはり利用者からは建て替えてほしいという要望がございまして、議会にその要望を持って請願をされて、議会でも全会一致で採択されました。

しかし、そのまま要望通りに建て替えできないということで協議を進め、公民館と役場庁舎の耐震補強はさせていただきましたけれども、いつまでも使えません。そのため、庁舎と中央公民館とグリーンパレスの三つを合わせた複合化をして、いつでも誰でも集える楽しい施設作りをしてはどうかということで検討を進めております。

第１期としてはしお元気村を一部改修させていただいて、ミニホールを作り、音楽演奏等にも使えるような公民館機能も一部移転し、当面は、はしお元気村とグリーンパレスを活用して中央公民館の機能移転をさせていただこうということでございます。今そういった方向で進めさせていただいております。

【町長後任者について】

町長：あとは、町長退任後議会でも後を誰に託すのかという質問がございました。自分としては後を託したい人がいるということで答弁をさせていただきました。

れども、具体的な名前は議会では申し上げておりません。

今日記者会見の場で私の後を継いでくれる人を公表しようと思いましたが、お集まりをいただきました。

次の町長選挙に立候補すると正式に表明されております吉村裕之さんに後を託せたらと思っております。真面目で誠実な方で手話も自ら学ばれており、人格ともに素敵な方だと思います。

ただ町長を選ぶのは町民の皆さんですので、私が決めるわけではございませんが、私は応援をさせていただきたいなと思っておりますので、今日正式に申し上げたいと思います。広陵町長としての任期満了による進退につきましては、以上です。ここでひと区切りさせていただきます。

ここまでで何かご質問ありましたら、お願いします。

記者：吉村さんとはその話は既にされているのでしょうか。

町長：はい。次期町長になりませんかということを、吉村議員が2期目の議員になられた時に、申し上げておりました。

記者：吉村さんからは、今まで町でやってこられた事業を今後継続してやっていくというお話になっているのでしょうか。

町長：明確ではないですけど、基本的に政策面では同じような考え方をしていただいています。全て継いでいくということでは改革も進まないと思いますので、是々非々でやっていただく形でいいのではないかと思います。

記者：これだけは何かやってほしいというようなことはありますか。

町長：そうですね。そんなに目新しいのはないので中央公民館の再整備、この役場庁舎と中央公民館とグリーンパレスを合わせて複合化する。夢のある施設を作ってもらえたらなというふうに思います。ただお金をかけるというのは限りがありますので、できたら民間手法を用いた効率の良い手段を選択いただきたいと思います。もう一つは、ごみ処理施設の跡地活用問題がありまして、これはまだ

少し先の話になりますが、できれば、スポーツゾーンや温浴施設、運動施設とか、民間にいい土地活用の提案をしてもらって、町が建てなくても民間が行ってくれるようなものができたらなというふうに思っております。

記者：後継者を選定されたのは基本的には吉村さんの人柄ですか。

町長：そうですね。当選された時からこの方はいいなと思いましたね。

議会で議長を、2期していただいていることから、実力はあると思います。

職員との関係もいいというふうに思っています。繰り返しになりますけども要するに人柄もよく真面目で政策的に同じ考えをしているということですね。

記者：吉村さんに町長が声をかけたのはいつですか。

町長：議員として2期目の当選を果たされたとき、町議時代に声をかけたと思います。町議時代に、次どうですか、挑戦しませんか、という程度の話でした。

記者：そのときの反応はどうでしたか。

町長：はい、特に拒否もなかったです。

記者：話は変わりますが、3期にわたってやってこられて、一番自分がこれをやったと言えることは何でしょうか。

町長：一番というのは難しいですが、やはり職員の育成ですね。

【町制施行 70 周年記念事業について】

町長：昭和 30 年 4 月 15 日に広陵町が誕生し、来年で 70 周年になります。

記念事業として令和 7 年 5 月 25 日にかぐや姫ホールで、自治功労者会議・町政説明会を行いますので、これに併せて子供たちに町の将来を語っていただくことを計画しております。また、町制 70 周年のロゴとキャッチフレーズを募集

し、そこで決定したロゴやキャッチフレーズの表彰式も実施したいと思っております。

あと、70周年記念事業は通年事業として、また記念式典等についても新しい町長に考えていただいて、実施していただけたらと思っております。

【子育てワンストップ窓口事業（広陵町こども家庭センター強化事業）について】

町長：子供に関わるセクションを1箇所に集めようということで、庁舎内に教育委員会がありますが、こども局を教育委員会の組織に入れて、一体的に子供に関わることをやってもらおうということで、組織改編は今年の4月からスタートしております。ただ事務所がさわやかホールに分かれておりますので、さわやかホールの2階を現在改修しておりますので、図の通りに配置をし、子供に関わることは全部この窓口でやっていただき、将来庁舎と公民館が複合化すれば、一箇所で全ての業務ができるのではないかと考えております。

ただ庁舎を動かすのはエネルギーが要りますので、住民の皆さんの理解が必要でございますので、しっかり説明の上実施していったほしいと思います。

【箸尾準工業地域工場用地造成事業について】

町長：箸尾準工業地域工場用地の造成事業の資料がございますが、事業着手前の写真を見ていただきますと、A地区にもう稼働していない工場もあり、準工業地域と指定しておりながら使い勝手が悪いということで地権者の皆さんからは土地活用について、10年以上も前から要望をいただいております。地権者の皆さんと意見交換をする中で、やはり町で開発してほしいということもありました。B地区も同じでございますが、AB合わせて土地開発公社を立ち上げて整備を進めました。ABの真ん中が直近の航空写真でございます。相当工事が進んでおりまして、B地区は売り渡し完了し、企業による工場建設が始まっています。A地区は文化財調査が終わりしだい、造成が可能ということになりますので3月頃に引き渡しをして、6月には完成になるよう進めて行きたいと思っております。令和7年6月頃には完成式典をし、皆さんに報告したいなと思っております。

【広陵町竹取公園周辺地区まちづくり基本計画について】

町長：竹取公園周辺地区のまちづくり基本計画でございます。これは、県と包括連携協定を結んでいただいております、竹取公園は馬見丘陵公園に接しておりますので、ここで賑わいの拠点を作ってはどうかと考えております。馬見丘陵公園の北エリアにはレストランと利便施設がございますが、南エリアには利便施設がありませんので、竹取公園で利便施設を設置して、民間の力をお借りして、集客施設をつくることで進めております。

周辺整備の2枚目は具体的な図面があり、巢山古墳、馬見丘陵公園、竹取公園を更新しております。また、かぐや姫の伝承地であります讃岐神社も同地域にございますので、花讃道プロジェクトとして整備を計画しております。

この図面にある緑の矢印は4車線の都市計画道路です。この区間では交通事故が非常に多く、多くの死亡事故が発生しております。安全対策をしながら、賑わい作りができないかということで、車線を減らして2車線にして、巢山古墳西という交差点の信号を取り、ラウンドアバウトにしてはどうかということを考えており、警察署と協議しましたところ、非常に評価をいただいております。ラウンドアバウトにすれば、スピードが落ち、事故が減ることが推奨されております。しかしながら、馬見丘陵公園の来園者が年間約110万人あり、竹取公園も人気が高まってきていることから交通渋滞問題の心配はしております。それをどう処理し、どう実現していくかはこれから考えてまいります。

2ページを見ていただきますと、エントランスゾーンの整備方針ということで、入口も今の場所から移動させ信号から離して、現在の入り口を芝生広場にしようか、それからカフェ等を民間事業者に出店していただけるように提案いただいて、家族が集えるようなスペースを作り、賑わいをさらに高めていければなと思っております。

コンセプトは地域に根付いた公園、子育て世帯に優しい公園というのを目指すということで、ターゲットは子育て世代の家族連れです。長いローラー滑り台や小さな子供向けの遊具も取り揃えていますので人気はあると思います。

【広陵町におけるこども園移行について】

町長：最後に広陵町におけるこども園の移行スケジュールを説明させていただきます

す。

ときわ広陵こども園の整備が始まっております、令和8年度に公私連携幼保連携型認定こども園が開園予定です。ときわ保育園と広陵南保育園と広陵東小学校附属幼稚園の3園の子供たちに、ときわ広陵こども園に入園していただく予定でございます。

次に、真美ヶ丘地域にある広陵西保育園と真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園と真美北保育園と真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園の4園について、広陵西保育園を公私連携認定こども園にし、民設民営でやっていただく予定です。また、真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園は閉園し、在園児は広陵西保育園の公私連携認定こども園に転園していただく予定としております。

資料一番下の真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園については、町立の幼稚園型の認定こども園となり、真見北保育園の3歳から5歳児は町立の幼稚園型の認定こども園に転園していただく予定としております。また園児の給食は、真美ヶ丘第二小学校の給食室から提供を予定しています。

真見北保育園は0歳から2歳児の保育園として、公設民営でやっていただく予定です。

西保育園の公私連携型認定こども園についても、現在の西保育園の園舎を活用したこども園にしていきたいなと思っております。

以上です。

ご質問がございましたら、お願いします。

記者：二車線化はいつごろでしょうか？すごく渋滞するのではないのでしょうか。

町長：社会実験を行いました。4車線のところを外側の2車線にしたところスピードはやっぱり落ちます。実験をおこったのは冬だったので、これがゴールデンウィークとかになるとどうなるのかと思います。まだ具体的には調整をする必要があります。

記者：こども園移行については、計画としてはできあがっているのでしょうか。

町長：幼保一体化でやっていくというのは決まっており、園舎整備等はどんどん始まっています。

司会：本日の記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。